

内航船舶によるメタノール燃料供給への取組み

国華産業株式会社（東京都港区:社長 前原 徹）は、メタノールを主燃料とした船舶を新造するトヨフジ海運株式会社（愛知県東海市:社長 武市栄司）の国内自動車運搬船（2027年度竣工予定×2隻）向けに、運航する内航船舶を活用し ship to ship でのメタノール燃料供給（※以下、メタノールバンカリングという）に向け連携、検討を進めます。

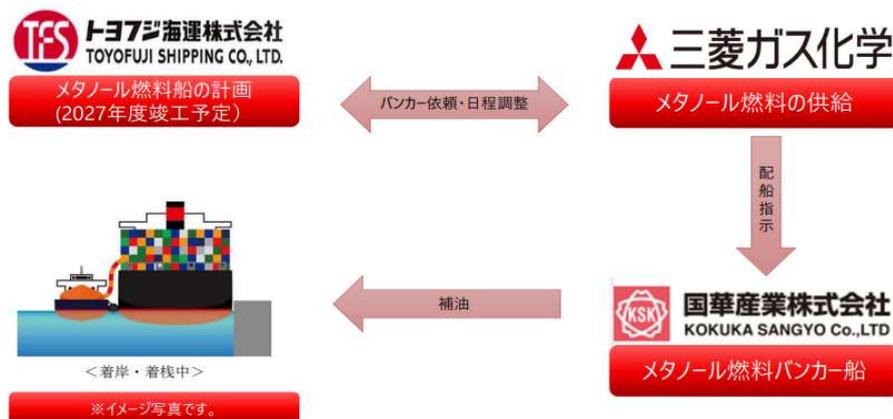
メタノールは、燃焼時の硫黄酸化物（SOx）、粒子状物質（PM）、窒素酸化物（NOx）、二酸化炭素（CO2）の排出量削減が見込まれ、国際海運市場ではこのメタノールを主燃料とした船舶の普及が進んでおり、本邦でも注目度が増しています。メタノールの供給元である三菱ガス化学は世界有数のメタノール生産能力を有することに加え、CO2 や廃プラスチック、バイオマスからメタノールを介して素材やエネルギーを生み出すことを目指す環境循環型プラットフォーム「Carbopath™」の社会実装に取り組んでおり、将来的にはさらなる CO2 排出量削減が可能です。

また、2021年4月本邦に於いては2050年 GHG ネットゼロへ向け、2030年度までの内航海運による CO2 排出量削減目標が2013年度比157万トンから181万トン減へと上方修正されました。

今回の取組みを通じ、本邦に於ける内航海運 CO2 排出量削減への普及促進、脱炭素化の実現に向け貢献して参ります。

将来的には、内航船へのメタノールバンカリングのみならず、四方を海に囲まれた本邦に寄港する外航船舶にも拡げて行くことも構想しております。メタノールバンカリングの実現に向け、関係省庁、予定される補油港毎の港湾関係者各位のご指導を得ながら、補油港毎に安全対策を講じ、検討を進めてまいります。

【供給イメージ】



以上

【お問い合わせ先】

国華産業株式会社 管理部

TEL:03-6367-5710